



第32回例会報告 *通算例会回数4176回目* (4月25日 於 今治商工会議所2階 大会議室)

【 出 席 報 告 】

・会員数 50名
 ・当日出席率 60.86%
 ・出席数 29名
 ・欠席数 21名
 ・前々回修正出席率 100.00%
 <欠席会員>阿部、相原、原、平田、冠、木村(雅)、吉良、小堀、近藤、桑森、向井、宮道、村上、越智、岡本、渡邊、矢野、吉田
 [免除会員] 檜垣(巧)、久米、八木(正)
 <4/11 欠席補填>(4/2 今治南)阿部、檜垣(明)、平田、冠、木村(敏)、吉良、小堀、近藤、楠橋、桑森、西本、西信
 大澤、岡本、田中、渡辺、八木(真)、八木(伸)、矢野、吉田、
 <5月他クラブサイン日>今治南RC:5月14日(火)、今治北RC:サインなし ※地区大会参加の方は、5月18日(土)

◇幹事報告

・事務局GWのお知らせ:5月2日(木)~5月6日(月)までお休みです。 ※5月2日(木)午前中は事務局おります。

◇親睦活動委員会・お誕生日スピーチ

・尾越優会員:ドンピシャです。パースデイソングありがとうございました。

地区研修・協議会報告

◆村上裕一次期会長(楠橋功次期幹事代読):3/17高松で行われた地区研修・協議会のご報告と2/25に出席してきました「会長エレクト研修セミナー」(PETS)の報告と併せて報告いたします。地区研修・協議会の内容は、基本PETSで聞いていたこととほぼ同じでした。▼一つ目。来年度のRI会長テーマは「ロータリーのマジック」というものですが、来年度限りで単年度のテーマ設定をしなくなるそうです。理由ですが、国際ロータリーのコミュニケーション委員会というところが、「毎年テーマを変えると、一般の人に伝わらない。それはブランドアイデンティティに良くない」と進言したからです。実は以前から、世界の変化にロータリーはついていけない、会社の企業理念的な「ビジョン」を作って、複数年度にわたる中期経営計画的な「行動計画」を作るべきだ、という話があったそうです。2017年に「ビジョン」、2018年に「行動計画」が策定され、現在は2019-20年から5カ年計画の「行動計画」の途中で、この6月末で一度終わるのですが、次の5カ年計画もまた出てくるようです。RIが出す「行動計画」には「四つの優先事項」というものがあり、それに沿って2670地区も目標を立て、当クラブもそれに則して目標を立てるわけです。クラブ計画書にそれらの構造がわかる資料を掲載するので後日ご覧下さい。▼当クラブで関係しそうなことを申しますと、まずはポリオ根絶キャンペーンをもっとやってくれ、と言われました。ゴルフコンペなどにチャリティの冠をつけて開催してくれ、ということなので、来年度は3RC合同ゴルフコンペにそういう名前を冠して実施することになるでしょう。ゴルフする人ばかりから募金を頂くわけにも行かないので、同様に3RC新年合同例会でも募金箱を回そうという話になっています。▼次にクラブ委員会の構成を5つに集約してくれ、という話が出ています。左側に今は色々ある委員会を右側の5つ、「クラブ管理運営」「会員増強」「公共イメージ」「奉仕プロジェクト」「ロータリー財団」の5つに集約してはどうか？という話です。その枠の中に小委員会を記載しています。既存の委員会がどこにはいるのだろうか、と私なりに推測してこのような資料を作ってみました。まだ不明点が多いです。[配布資料あり] ▼それから“世間に対してロータリーのイメージ向上アピールをもっとやってくれ”、そのために「ロータリー公共イメージ向上DEI委員会」をクラブ内に立ち上げてくれ、という話でした。当クラブから菅会員が地区の委員として出向していますからクラブ内に委員会を立ち上げて頂こうと思います。DEIとは何かというと、ダイバーシティ(多様性)、イクイティ(公平さ)、インクルージョン(包括性)の三つを略語で表したものであり、ロータリーはそうしたDEIを意識した、素晴らしい団体だとアピールせよ、という話です。これはDEIについて何なのか、私達自身も勉強しなければ導入できないでしょうから、来年度に学ぶ機会を例会で作りたいと思いました。▼まとめとして①今まで方針がバラバラなので、もっと奉仕活動を集中してやって、成果をきちっと測っていきこう。②良いことやっている割には世間に伝わっていないから、これからのロータリーの中核的価値としてDEIを打ち出して、興味を持って貰おう。③世界的に会員も高齢化しているし、ネットや通信環境の発展もあるから、今までと違うタイプの人も会員に勧誘しよう。④若い人もとりこんでおこう。といったところだと思います。▼そういう話がメインでしたが、気になる話を二ついたします。1つめが、夏見次期ガバナーが力を入れて「四つのテストだけじゃなくて会員の『行動規範』も浸透させてくれ」という話をしていました。私は『行動規範』というのは初めて聞いたので、帰ってきて吉武会長にお願いし前回のPETS資料を貸して頂き、後で見たのですが、そういうことには一言も触れていませんでした。…行動規範の何がそんなに気になるのか、と申しますと、書いてあることが少々驚きを禁じ得ない内容だからです。特に「ロータリーやほかのロータリアンの評判を落とすような言動は避ける」「ロータリーの会合、行事、および活動においてハラスメントのない環境を維持することを支援し、ハラスメントの疑いがあれば報告し、ハラスメントを報告した人への報復が起こらないよう確認する」の2点です。このこと改めて言わないといけなくらい酷い事になっているのか？とも思ったのですが、昨今他クラブで起こった不祥事などを受けての対応だと思います。「四つのテスト」はとても良い信条だと思いますが、現代社会ではそれだけでは不足なのでしょう。これも来年度のどこかで皆さんに見て頂ける機会を作りたいと思いました。▼2つめは本当に驚いたのですが、各クラブの会長・幹事・会計の三名が集まる会場に、財務委員会の委員長がやってきて、皆の前で言われたのが、「前年度の決算の承認が下りない。昨年度の一般会計が予算とあまりに乖離していて、2700万円あった繰越金が750万円しか無くなった。使途は明確だが、予算を意識せず出費してしまっている。来年度の皆さんにお諮りして、どう思われるか決算の承認についてお伺いしたい」、「そして手元繰越金が薄くなったので、補填すべく、地区供出金を増やして貰えるか？」といった巨大爆弾発言があって、思わずのけぞりました。私は挙手して、「再発防止策の設定がないと、安易に供出金の増額はできない」と発言しました。毎年交代する財務委員長に、ガバナンスやコンプライアンスを考えた業務ルーチンを構築してくれ、と言う

のは気の毒でしたが、でもこのままだと本当にダメな組織ということになってしまいます。当クラブは今年90周年式典もありますし、100年に向けての資金準備も重要ですからおいそれと出費は増やせません。「道徳無き経済は犯罪であり、経済無き道徳は寝言である」と二宮尊徳翁の言葉を思い出しました。以上、前途多難を予感する報告を終わらせて頂きます。

◆**板脇俊匡次期副幹事**: 予算内で予算通りの事業を行うという基本的な財務規律はしっかり守らなければならないし、そのためのガバナンスの徹底がクラブ単位でも求められていると痛感しました。またハラスメント対策として「危機管理委員会」の設置と「ロータリアンの行動規範の周知」が活動目標に加えられています。▼昨今は世間一般に「コンプライアンス」つまり「法令順守」が重視されています。これは単に法律を守るという意味以上に、倫理観、公序良俗などの社会的な規範に従い公正・公平であることが求められています。ロータリアンたるもの倫理道徳に反した言動は殊に慎むべきである事であり、また誤解を与えるような言動には充分注意したいものです。◆**志尾卓哉次期会計**: 地区の会計報告には後味の悪い感が否めませんでした。やはり会計においては、その透明性や妥当性が担保されて、適切な支出が行われることが大前提であり、次年度会計としてしっかり監査していきたいと思います。よろしく願いいたします。◆**尾越優次期社会奉仕委員長**: 今回から、クラブ奉仕・社会奉仕・職業奉仕の分科会が一つにまとめられました。これはRIや地区として、これらの委員会について個別に方針や要望を出さないためです。したがって分科会の内容も特段実のあるものはなく、報告事項はありません。◆**八木真人次期国際奉仕副委員長**: 分科会内では国際奉仕の3つの事業である、①国際長期交換プログラム②同短期交換プログラム③国際奉仕ファンドについて、これまでの事業経緯、事業内容及び本年度の事業実施状況等についてのレクチャーが行われました。▼その中でも特に短期交換プログラムの説明について多くの時間が割かれ、同事業が40年以上の歴史を持つ国内でも稀な国際交流事業である事や派遣人材の先行プロセスについての説明そして交換事業に掛かる費用面での負担について等、その詳しい事業内容を知ること出来ました。私自身の同事業についての認識は、「高校生を対象とした一般的な交換留学」という程度のものでしかなく、ここまで綿密な選考プロセスを経て、最終的な派遣者の決定が行われていることは正直予想外でした。また今回の分科会を通じて、この長期及び短期交換プログラムが単なる語学留学等とはその本質を異にするもの、日米間の国際親善の架け橋となる人材育成を目的としたものであることを再認識し、この点については説明者の方々も特に強調されている事柄でした。残念ながら次年度は本今治RCが携わる派遣者はありませんが、先々機会があった時には今回の会議内容を思い返して役立てることが出来ればと考えております。

◆**廣川怜史次期R財団副委員長**: 財団ですのでやはり寄附のことや地区補助金・グローバル補助金のこと・ポリオプラスのことの説明でした。ポリオについての説明は、現在発症している国が増えているとのことで、ポリオ根絶に力を入れていくそうです。

◆**木村敏明次期米山記念奨学会委員長兼地区新世代小委員会委員**: 私が来年度仰せつかりました米山記念奨学は大ベテランの重松会員におまかせして、私は出向しております、青少年奉仕委員会新世代小委員会のほうに出席いたしました。▼新世代とは小学生から中学生を対象としておりますが、他のIAC、RAC、ライラなどと比べて今まであまり目立った活動がありません。唯一の活動といえるのが春休み中に小豆島の沖合にある余島で開催される「ロータリー少年少女キャンプの送り迎えです。これは高松駅に集合してもらった参加者を高松港まで引率して、そこから一緒にフェリーに乗り小豆島に渡って土庄港で小豆島RCのお手伝いのメンバーにお渡しして帰りはその反対。最後は高松駅で迎えに来られた参加者の父兄にお返しする。これが新世代小委員会唯一の活動になります。◆**阿部真弓地区青少年奉仕委員会インターアクト小委員会委員長(代読)**: 第2670地区青少年奉仕委員会は四部門に分かれております。新世代奉仕委員会・RYLA委員会・インターアクト委員会・ローターアクト委員会の以上4部門に分かれております。特記すべき条項としては、ローターアクトが、ロータリアンの一員として、人頭分担金等も必要となり、ローターアクト例会に ガバナー公式訪問も実施されます。今回の地区研修協議会に、ローターアクトの会長も参加しておりました。インターアクト委員会からは、次年度より 顧問・提唱クラブのロータリアン・地区委員を対象にした、「連絡協議会」を立ち上げ、事業の共通認識を持ち円滑な事業運営を運ぶ取り組みをスタートさせます。インターアクト委員会独自の「危機管理マニュアル」に作成も取り掛かります。◆**渡辺仁次期会員増強委員**: 印象に残ったのは高知南RCの会員数が50数名から80名ほどまで会員が増え維持しているという話です。何をしたかという、具体的な人数目標をたてること。食事会や座談会に参加しやすい環境を整えること。100%出席を廃止にするなど…会員全員を巻き込んでいくことが大事だということでした。◆**重松宗孝地区米山奨学会委員会委員**: 米山記念奨学委員会の報告をさせていただきます。寄付のお願いと米山記念奨学制度の真髓についての2点でした。各地区が奨学生を何人採用できるかは、概ね、地区の関連指標の全国比によって決定されています。寄付が増えると地区の採用も増えます。今年度も寄付をよろしく願います。米山記念奨学制度の真髓は、「交流」を目的としたプログラムに有ります。それを実現するための制度が「世話クラブ・カウンセラー制度」です。世話クラブの受け入れ、そして奨学生の卓話の依頼等、積極的な交流をお願いします。私は地区委員として7年目に入ります。今年も卓話の地区担当となりました。一年間よろしくお願いします。◆**菅主浩地区公共イメージ向上DEI委員会委員**: 公共イメージ向上DEI委員会が発足して、この2年間は「四国八十八か所ポリオ根絶祈願 参拝」イベントを開催して、ロータリーが如何にポリオ根絶に力を注いでいるかを、皆様に広く認知して頂いたところであります。次年度においては無理なくイベントを開催をということで、毎年各地区やクラブで実施している「ゴルフ大会」の冠を「ポリオ根絶チャリティーゴルフ」として開催していただければと思います。▼夏見ガバナーエレクトより、青少年の活動を広くPRして欲しいとのことなので、本来の当委員会の基本に立ち返り、ロータリーの奉仕活動(社会奉仕・国際奉仕・米山・青少年)をSNSで発信していきたいと思います。

次 回 例 会(5月9日)

【 出席委員会アワー 】

< 結婚記念日祝 > 西本 信保氏 (5/14)

< 入会記念日祝 > 米北 顕規氏 (5/10)

〔 笹 〕

※5月2日(木)は祝日振替の為休会です。